

公益社団法人
文字・活字文化推進機構評議員会
発言資料

2021年3月29日(月)
15:00～
日本プレスセンタービル 7F
新聞協会 7F 役員会議室

コロナ禍後を見据えた文字・活字文化推進活動を！

ーコロナ禍の最大の負の遺産、「出生数の大幅減」に備えようー

開倫塾
塾長 林明夫

1. (1)日本産科・婦人科学会の2020年12月12日の中間発表によれば、2020年10月から2021年3月までの分娩予約者数は、昨年同期比で都市部で24%減、地方部で37%減とのこと
です。
(2)また、私の住む栃木県足利市のHPによれば、2021年2月の出生数は44名と、2020年2月の出生数60名と比べ、16名減となっています。
(3)コロナ禍前の超少子高齢化による人口減に加え、コロナ禍による2割～3割人口減が今後数年間続くと思われ
ます。
*コロナ禍の最大の負の遺産は、出生数の急速な減少、人口動態の変更と思われ
ます。
2. (1)これに加え、コロナ禍は
 - ①消費意欲の大幅な減少(サービス産業での売上減)
 - ②オンラインの活用によるテレワークの普及
 - ③新しい生活様式
 - ④海外との交流・取引方式の変更

*これらは、すべての業種・業態の「ゼロベース」での見直しを迫っています。
- (2)①教育分野でも、「幼児教育」「初等教育」「中等教育」「高等教育」「生涯教育」「企業内教育」などありとあらゆる教育分野で、「学校休校」や、「学校行事や教科外教育の大幅自粛」により、教育のありように「ゼロベース」での見直しが迫られています。
②特に、大学などの高等教育機関では、2020年4月からオンライン教育が中心となりました。従来の教育・研究のあり方の抜本
的変更が迫られました。この1年間、すべての大学教職員とすべての学生・院生は、この試練によく耐えたと高く評価いた
します。
③社会教育分野でも、公共図書館はじめあらゆる社会教育施設はこの1年間ほとんど機能不全に陥り、企業内教育やNPO、NGO職業訓練コミュニティカレッジ(大学開放)でも超停滞の状況にあります。
- (3)①「医療や介護・福祉」のあり方を含め、公共部門や自治体、国のあり方の抜本
的見直しが迫られています。

②コロナ禍の世界的蔓延に加え、大地震や大津波、大雨による大洪水、また、火山の爆発など「低頻度巨大災害」発生の可能性も高まっています。

③このような状況の中、文字・活字文化推進活動の重要性は極めて大きいと考えます。とりあえずは、コロナ禍後の最大の負の遺産である「出生数の大幅減」と「人口減少措置」についてゼロベースで策を練るべきと考えます。

3. 「小学校区単位で遊休施設を活用してテレワークセンターの整備を」ーピンチをチャンスにー

(1)①「テレワーク」の推進は、「密」を避けるために自宅など従来の職場から離れた場所でオンラインを活用した業務推進を加速させます。

②しかし、現実には厳しく、Wi-Fi 環境や周辺機器の不備、自宅の広さ、他の家族とのコンフリクトなどで、従来の職場と同程度の生産性を維持することは困難を極めている人が多いようです。

③また、自宅でのみ長時間仕事をすることは、メンタルヘルスの健全さを保つ上では難しい場合が多いようです。

(2)そこで、小学校区単位で遊休施設を国や自治体、NPO、企業などが連携して借り上げ「地元密着のテレワークセンター」を設置することを提言いたします。

①「Wi-Fi 環境の整備」

②「PC に詳しい技術アシスタント」

③「日曜・祭日などの休館日なしの、できれば朝 5 時から夜 12 時までの長時間開館」

* 以上は絶対条件です。

(3)①全国各地には、使用しなくなった学校跡、ショッピングセンター跡、大型商店跡はじめ歯抜け現象の激しい商店街、空き家などが山ほどあります。

②これらを活用、お金をほとんどかけずに地方創成の本拠地として小学校区単位で「テレワークセンター」を設立することは、コロナ禍・コロナ禍後の働き方改革に大きく役立ちます。

③お手本は「フィンランド公共図書館」です。「フィンランド公共図書館のエキス」を地元密着、小学校単位の「テレワークセンター」として応用すべきと考えます。

*〈参考〉吉田右子他著「フィンランド公共図書館、躍進の秘密」新評論 2019 年 11 月 2 日刊

4. (1)ピンチをチャンスに

(2)地元密着の「テレワークセンター」でこそ、文字・活字文化推進機構の活動のすべてを展開。

(3)コロナ禍後の超少子化に備えるべきと考えます。

5. 終わりに

(1)毎年 11 月第 3 木曜日は、国連が定めた「ユネスコ世界哲学の日」です。

(2)2021 年の 11 月第 3 木曜日は 11 月 18 日です。

(3)文字・活字文化の根底を支える「哲学」を当機構でも真正面からとらえ、「世界哲学の日」をご活用いただきたく提言申し上げます。

以上、よろしくご願い申し上げます。

2021 年 3 月 29 日(月)

林 明夫